

『国際地域経済研究』第 24 号の刊行にあたって

附属経済研究所長 川端康

名古屋市立大学大学院経済学研究科附属経済研究所年報『国際地域経済研究』は 2000 年 3 月の創刊以来、今回で 24 号目の刊行を迎えました。本号では 2 つの論文を所収しました。1 本目の「経済学・経営学分野におけるプレレジスター型研究の発展の可能性についての検証―サーベイと展望―」では、ピッチング・リサーチ (Pitching Research) を用いたプレレジスター (Pre-registered) 型の研究について紹介・概観を行い、その有用性を議論しています。2 本目の「地域金融機関の監査体制についての調査研究」では、アンケート調査の結果を用いて、信用金庫の監査体制について分析しています。

今年度は「気候変動への適応策―気象災害を事例として」をテーマに第 28 回公開シンポジウム (名古屋市立大学大学院経済学研究科・附属経済研究所、東北大学 Research Center for Policy Design、名古屋市立大学都市政策研究センターの共催) を令和 6 (2024) 年 11 月 16 日 (土) に開催いたしました。おかげをもちまして大変な盛会となりましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。

末筆ながら今後も経済研究所の活動におきまして、皆様のご支援、ご協力をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。